

# 精神看護 第26巻(2023年) 総目次

表示は、「題名：著者，号数，開始ページ。」

## 特集

### [1月号(1号)]精神科治療、この10年で覆った常識とは “不要な神話”を手放した人たち

精神科領域に“神話”がうまれやすい要因は何だろうか？：松本俊彦，1，6.

「ダメ、ゼッタイ」を覆した一エッセイ『誰がために医師はいる』：松本俊彦，1，9.

幻聴・妄想という症状を見る視点を手放す—オープンダイアログと訪問看護—あるがままの「その人」に出会うために：三ツ井直子，1，14.

「交代人格を無視する」ではうまくいかない—解離性同一性障害の臨床における「出会い」：岡野憲一郎，1，18.

「隔離・身体的拘束」は必須だろうか？—トラウマインフォームドケアを学び、患者・自分・仲間を大切に：大西恵，1，21.

入院治療や薬物治療は常識か？—「精神医学の常識」をひっくり返したACTとダイアログ：高木俊介，1，24.

濫用の危険をはらむ「措置入院」—医療観察法が覆したもの—精神看護は監視ではない：井原裕，1，27.

「内因か心因か身体因か」を覆した—ポリヴェーガル理論—「身体」と「こころ/脳」をつなげる日常臨床へ：金井講治，1，31.

誤用・悪用はないだろうか—境界性パーソナリティ障害治療の「制限設定」をめぐるジレンマを越えて：林直樹，1，35.

「児童虐待防止法」のパラドックス—「通告」の推進は、本当に子どもたちを守るのか：滝川一廣，1，39.

「統合失調症の超まじめな患者像」から自由になる—「槍の投げ方」私流—仕事・日常の切り抜け方：あべ・レギーネ，1，43.

「社会への適応が回復」という見方を覆した—“世に棲む患者”の可能性と潜勢力をもったリカバリー：松本卓也，1，46.

### [3月号(2号)]心停止を回避する 思考の言語化と報告を意識したトレーニングINARS

1 どうせなら心停止なんて起きないほうがいい—船橋北病院の組織的実践と手応え：佐藤祐司、井口千春、下川泉、森浩一郎、竹村英美，2，117.

2 INARSは何をトレーニングするのか—簡略化された救急医の診察手順とそれを知る意味：大森教成，2，125.

3 INARSコースでは、どう学ぶ？—学会併設コースレポート：本誌編集部，2，128.

4 [インタビュー]精神科看護師にINARSがフィットするのはなぜか：大森教成、松森美和，2，130.

5 [座談会]精神科看護師ならではの身体的急変予防：井口千春、松村麻衣子、佐藤祐司、大内禎，2，132.

### [5月号(3号)]「保存版」「頓服」の迷い解決！現場の問題を整理しよう

1 [講演録]「頓服と薬」をめぐる病棟改革：山下隆之，3，221.

2 [解説編]打率を上げる「頓服」の考え方—不安だから「ペンゾ」を決めてしまう前に：清水勇雄，3，228.

3 [実践編]頓服の指示、私はこうしています—医師の指示・処方意図を読み解くポイント：清水勇雄，3，234.

4 [Q&A]お二人に聞いてみよう！現場のあるある困り事：山下隆之、清水勇雄，3，239.

[付録]最近、不眠時の「頓服」に使われるようになった薬：清水勇雄，3，244.

### [7月号(4号)]ストレングスがあふれるアクティビティプログラムの作り方 & そのまま使える盛り上がりネタ集

プログラムの作り方 & そのまま使える盛り上がりネタ集：木暮明菜，4，308.

私がメンバーさんから学んだこと：木暮明菜，4，328.

### [9月号(5号)]増える児童思春期のニーズに応える「それって看護？」が勘所

総論—増える児童精神科へのニーズとミスマッチに私たちはどう応えるのか：岡琢哉，5，405.

各論「訪問看護」で応える—“遊び”と児童への訪問看護：塩見祐子，5，408.

各論「オンラインコンサルテーション」で応える—放課後等デイサービス事業所スタッフ向け研修の効果と展望：宮田里依，5，412.

各論「情報発信」で応える—環境調整の土台となる特性理解：岡琢哉，5，415.

訪問看護ステーション所長対談—精神科訪問看護で“変わる”子どもたち：那須祐子、校條文，5，420.

インタビュー—子と母が、支援につながるまで：本誌編集部，5，429.

### [11月号(6号)]身体科受診・入院にまつわる看護と円滑な治療継続

0 身体科からの帰院時に精神科看護師が確認すること：船山健二，6，493.

1 頭部外傷：石田琢人，6，496.

2 骨折：牛田正宏，6，499.

3 敗血症(感染症の重症化)：清水勇雄，6，507.

4 高血糖緊急症：清水勇雄，6，511.

5 イレウス：石田琢人，6，516.

6 緩和ケア/疼痛管理：横須賀響子、古林詩由、佐藤那央子、田口三知，6，520.

7 調査研究から見えてきた精神科病院と身体科病院の連携における課題とその背景：千葉理恵、廣田美里、林佑太、梶原友美、木戸芳史、谷口(梅田)麻希、橋本健志、野津美由紀、石田祐樹、山口玲子、西脇可織，6，525.

## 巻頭・追悼

中井久夫先生 本誌編集部が推したい雑誌特集と書籍：本誌編集部，2，150.

「看護できない患者はいない」—私たちを支える中井久夫先生の言葉：編集部，3，209.

## 寄稿／特別記事／実践報告

吃音当事者である私が、訪問看護師として働く理由：伊神敬人，1，98.

アセスメントしない—ハウジングファーストとオープンダイアログが看護に与えるインパクト：須賀郁子，2，138.

自転車に乗れなくなった新聞記者、私信を書きまくる—[前編]反復性うつ病と診断された：韓光勲，3，264.

自転車に乗れなくなった新聞記者、私信を書きまくる—[後編]君は自分の力で生きていける。：韓光勲，4，352.

就労継続支援B型事業所で「きもちカード」を導入してみた：喜多一馬、藤田祥代，4，348.

生活工房主催「対話の効能(わたし)と〈あなた〉のあわい」より—共に「折り合いがつくところ」へ—「回復共同体」から生まれる対話の道：山内泰、中村幸、本誌編集部，5，432.

イイネ！その業務改善

申し送り廃止、完全部屋持ち制でゆとりを創出—看護計画、看護記録、行動制限最小化にも好影響！：波川明嗣，2，145.

アルコール依存症と訪問看護 「本人の意思」と「命のリスク」をどう考えるか

本人の決意表明を尊重したが、急変のリスクを予測しきれなかったケース：小瀬古伸幸，4，339.

説得する／受け入れる関係から脱却し、共同意思決定がなされたケース：崔明玉，4，345.

セミナーレポーター—考える看護師を育てる5の問いかけ—臨床判断を言葉にしよう：小瀬古伸幸、進あすか、清水奈穂美，6，530.

## 座談会

精神科病院で「身体拘束」が生まれる理由を深掘りする—長谷川利夫さん×長嶺真智子さん×編集部が話し合いました：

長嶺真智子、長谷川利夫，3，246.

長谷川利夫さんとの話し合いを経て—「自分は群衆の1人である」—それを自覚することから：長嶺真智子，3，257.

長嶺真智子さんとの話し合いを経て「ケア」と「人権」を求める先にある世界：長谷川利夫，3，260。

## 連載

●**たくさんの人の声、集めました！—SNSの利点を活かして、同じ領域で働く仲間と交流してみませんか／マツコ、田端恭兵、TOKIYAPI、眞梨和紘**

- (12) 精神科病院・病棟における身体ケアの状況は？，1，68.
- (13) こんな時だからこそ、教えてください！—夢や、なりた姿(目標)はありますか？，2，176.
- (14) 読者の皆様、職場にあったらいいなはありますか？，3，284.
- (15) 皆さんの職場において、新入職員や中途採用職員への教育はどうしていますか？，4，378.
- (16) 認知症ケアについて感じていること、教えてください！，5，454.
- (17) オンラインイベント「みんなで話そう！」精神科医療福祉における虐待防止，6，540.

●**当事者研究のスキルバンク／べてるの家**

- (33) 本日の研究者：劇団ばびるべとゆたかさん 本日のスキル：自分を演じるばびるべ演劇法，1，110.
- (34) 本日の研究者：大矢さん 本日のスキル：他人事メソッド，2，206.
- (35) 本日の研究者：しょうさん 本日のスキル：開かれた情けなさ 積極的公開活用法，3，302.
- (36) 本日の研究者：かずひろさん 本日のスキル：折れ線グラフを使って人生を観察法，4，396.
- (37) 本日の研究者：ハムさん 本日のスキル：助ける者が助けられる法，5，486.
- (38) 本日の研究者：ともこさん 本日のスキル：×を集めて大きな○をつくる法，6，572.

●**編集部がすっごくオススメする映画「これ観たほうがいいですよ！」**

- (5) 第73回ベルリン国際映画祭金熊賞受賞—『アダマン号に乗って』：木暮明菜，4，334.

●**「ゼロ」からはじめるオープンダイアログ／斎藤環**

- (15) 「コンテクスト」を揺さぶること，1，100.

●**精神疾患の「病態理解」にもとづいた看護／中村創**

- (6) 依存症を持つ人にどのように看護をするか，2，152.
- 精神科訪問看護を軌道に乗せた私のノウハウ・経験をお伝えします／山下隆之**
- (4) 開設2か月目。早くも危機！？，1，84.
  - (5) 開設3か月目。ポツポツと新規依頼が。そこでの発見，2，186.
  - (6) 開設から4か月。会社倒産の危機を乗り切る！，3，294.
  - (7) 開設から5か月。怒涛の新規依頼増とスタッフの疲弊，4，388.
  - (8) 開設から8か月。事業拡大に関して考察し決断する，5，468.
  - (9) 開設から10か月。スタッフの固定、キャンセルの扱い、記録についてなど，6，558.

●**小瀬古伸幸が、精神科訪問看護のいろ～んな悩みに答えます／小瀬古伸幸**

- (4) 「双極性障害の躁状態の人と話す時のコツがあったら教えてください」，1，80.
- (5) 「訪問看護師として家に伺った時、何をどこまでやっていいのか、その線引きが難しいです」，2，182.

●**「身体拘束」を問う／長谷川利夫**

- (3) 「身体拘束要件の拡大」という大問題が発生中！，2，199.

●**統合失調症とやわらかい回復／仲地宗幸**

- (2) 回復は予期せず訪れる。ペースチェンジ！，1，88.
- (3) 怒り時は関わり時！，2，190.
- (4) やわらかい回復を阻害しない地域—統合失調症、中井久夫、ナイチンゲール，3，298.

●**ADHD診断をめぐる旅／高野秀行**

- (2) ADHD検査への道は遠く、診断はもっと遠い，1，92.
- (3) 困っているかどうか、それが問題だ！，2，194.

●**声に出して読みたいオープンダイアログ**

- (1) 読むODの活用法：大井雄一、斎藤環，1，50.
- (2) 理論ではなく感情で、頭脳ではなく身体に：大井雄一，2，159.

(3) すべての声を大切に：大井雄一，3，273.

[コラム]看護教育で「読むOD」を導入してみました：石橋佐枝子，3，276.

●**内科医がそばにいない環境で精神疾患を持つ人の命と暮らしを守る—私たちができごと、知っておきたいこと／小野正博**

- (1) 発熱した認知症のAさん，1，62.
- (2) Aさんの発熱の原因は？，2，171.
- (3) ショックと輸液の判断，3，289.
- (4) 水中毒の経過観察と搬送の判断，4，384.
- (5) 痛みの問診のスタンダードを押さよう，5，460.
- (6) 早期に治療しなければ生命に関わる「胸痛」を知っておこう，6，551.

●**経験者に聞いてみよう！ 病院建て替え物語**

- (1) まずは院長に聞いてみた。：安藤馨，1，108.
- (2) 院内ツールが、がらりと新しくなりました：安藤馨，2，204.
- (3) 建て替わりました！ 引っ越しました！：安藤馨，4，394.
- (4) 看護部長にインタビューしました。—荻野智美さんに聞く：本誌編集部，5，484.

●**小瀬古伸幸のしくじり体験／小瀬古伸幸**

- (1) 自己窒息で亡くなったクレーム多きうつ病の人—事故死で警察が来た時にわかった真実，3，268.
- (2) 「私のことだけを考えて！」不満を爆発させる発達障害の人，4，372.
- (3) 行方がわからなくなった境界性パーソナリティ障害の女性，5，448.
- (4) 2時間説明して契約したが、1週間で終了を申し出てきた家族，6，534.

●**コンサータ・トリップ／高野秀行**

- (1) ADHD治療薬を飲んだら世界が薔薇色になった！？，4，356.
- (2) 予知能力者になったが、原稿が書けなくなる，5，472.
- (3) 倦怠期に見えたコンサータの「真実」，6，562.

●**スキゾ小町の貸し出し休耕田／あべ・レギーネ**

- (1) 熱帯魚の水槽の中の一歩平凡な魚の名前を覚えるのに5年かかった話，4，364.
- (2) 休耕田的のしぎ方，5，479.
- (3) けなされ慣れていますが、何か？，6，569.

●**患者に導かれる学生、引き込まれる教員。—精神看護の入口への誘い方／船山健二**

- (1) 患者の内的世界にハマる，4，368.
- (2) 型にはまらず沼にハマる，5，465.
- (3) 観察の奥深さにハマる，6，555.

## 書論・書評

精神看護のおもしろさと深さを伝えられるマンガ本が出た！  
—看護理論とつながりも理解できてしまう：服部かおる，1，74.

『弱さの倫理学 不完全な存在である私たちについて』：向谷地生良，4，337.

『13の実践レシピで解説！—看護を教える人が発問と応答のスキルを磨く本』：小瀬古伸幸，4，363.

『臨床現場のもやもやを解きほぐす 緩和ケア×生命倫理×社会学』—「正解」のない臨床で働くことの難しさ：武井麻子，6，546.

## NEWS

映画『アダマン号に乗って』が金熊賞受賞！，3，267.

精神科病院の看護職による患者虐待事件を受けて—看護職能3団体が取り組み強化に関する共同声明を発表—石田まさひろさんに聞く：本誌編集部，5，442.

「障害」から「症」へ DSM-5からDSM-5-TRへ、何が変わった？，5，482.

## 読者投稿コーナー

「コロナ禍の勉強会—“昼活”を通して他施設とつながる」：小久保知由起，1，87.